＜アクション（1）A1＞

事務室に勤務していた図書館職員(課長補佐)が負傷しました。頭部から流血していますが、

裂傷は浅く、意識はしっかりしています。

＜アクション（1）B1＞

事務室に勤務していた図書館職員(課長補佐)が負傷しました。意識はしっかりしていますが、右足を骨折したようで、動き回ることができ

ません。

＜アクション（1）C1＞

図書館職員(係員)の一人がガラスの破片で手を怪我しました。出血していますが傷は浅く応急措置をしています。

＜アクション（1）D1＞

積層書庫1F北書庫の、書架の一部が倒壊しかけ

ています。付近に利用者や図書館職員はいませんでした。

＜アクション（1）E1＞

カウンター(東棟2F)から見たところ、2F自然

科学系図書の一部が床に散乱して、非常階段に

通じる通路が狭くなっています。

＜アクション（1）A2＞

カウンター(東棟2F)から見渡した限り、開架の

書架が一列まるごと倒壊しています。倒れた

書架の下には、落下した本が床を埋めるような

状態で散らばっています。

＜アクション（1）B2＞

カウンター(東棟2F)から見渡した限り、開架の

書架は倒壊していませんが、落下した本が

80センチほどの高さに積み上がっています。

＜アクション（1）C2＞

カウンター(東棟2F)から出ると、自動貸出機が落下して通路が狭くなっています。

＜アクション（1）D2＞

東棟1F正面入り口の自動ドアの片側が、手で

押しても開きません。

＜アクション（1）E2＞

エレベーター内に閉じ込められた利用者は、

幸い、いないようです。

＜アクション（2）A1＞

東棟3Fで書架の半数が将棋倒しになっています。奥まで進むことができない状態です。

＜アクション（2）B1＞

東棟2Fで書架の半数が将棋倒しになっています。奥まで進むことができない状態です。

＜アクション（2）C1＞

書庫内では、書架は倒壊していませんが、蛍光

管が落下・破損しています。また、落下した

本が80センチほどの高さに積み上がり、その先

に進むことができない状態です。

＜アクション（2）D1＞

積層書庫西側4Fで、書架の半数が将棋倒しに

なっています。奥まで進むことができない状況

です。

＜アクション（2）E1＞

積層書庫の西側4Fと3Fの一部で、本が散乱

していますが、負傷した利用者などはいません

でした。

＜アクション（2）A2＞

カウンター(東棟2F)に駆け寄ってきた学生が、「友人が東棟3Fで書架に挟まれ、動けない」と訴えています。

＜アクション（2）B2＞

カウンター(東棟2F)に駆け寄ってきた学生が、

「東棟3Fで、落下して積み上がった本の山の

中から助けを求める声がする」と訴えています。

＜アクション（2）C2＞

カウンター(東棟2F)に駆け寄ってきた教員が、｢書庫で倒れている学生が呼吸をしていない

ようだ。AEDを持ってきて欲しい」と言って

います。

＜アクション（2）D2＞

図書館職員が、東棟3F大型本コーナー付近で倒

れている利用者を発見し、AEDを取りに来ました。

｢自分の他にもう一人(救護者が)必要だ」と

言っています。

＜アクション（2）E2＞

図書館職員が、東棟3F大型本コーナー付近で倒

れている利用者を発見し、AEDを取りに来ました。

｢自分の他にもう一人（救護者が）必要だ」と

言っています。

＜アクション（3）A1＞

学生が、「友人が見当たらない。確か書庫に本を

取りに行くと言っていた」と訴えています。

＜アクション（3）B1＞

学生が、「友人が見当たらない。避難を始める時

までは一緒にいた」と訴えています。

＜アクション（3）C1＞

学生が、「友人と4Fではぐれてしまったが、

まだ戻ってきていないようだ」と強く訴えて

います。

＜アクション（3）D1＞

学生が、「さきほど落下して積み上がった本の

山の中に、まだ誰かが取り残されているはずだ」と強く訴えています。

＜アクション（3）E1＞

学生が、「さきほど落下して積み上がった本の

山の中に、まだ誰かが取り残されているはずだ」と強く訴えています。

＜アクション（3）A2＞

学生が、「友人が亡くなったようだ」と言って、

ショックのあまり号泣しています。

＜アクション（3）B2＞

学生が、｢友人が3Fの参考図書コーナー付近で

具合が悪くなり動けなくなった｣と言って

います。

＜アクション（3）C2＞

学生が号泣しており事情を尋ねたところ、｢家族から連絡があり、弟が自宅で亡くなったようだ｣と言っています。

＜アクション（3）D2＞

学生が、｢友人が頭を負傷して先程応急措置をし

てもらったが、出血が収まらない。早く救急車

を呼んで欲しい」と強く訴えています。

＜アクション（3）E2＞

学生が、｢友人が頭を負傷して先程応急措置をし

てもらったが、出血が収まらない。早く救急車

を呼んで欲しい」と強く訴えています。

＜アクション（4）A1＞

多くの学生から、「家族と連絡をとるために、

館内の荷物の中にある携帯電話やスマート

フォンを取り出したい」という希望が寄せ

られています。

＜アクション（4）B1＞

多くの学生から、「もう家に帰りたい」という

訴えが寄せられています。

＜アクション（4）C1＞

一旦外に避難した学生が、「寒いのでコートを

取りに館内に戻りたい」と言っています。

＜アクション（4）D1＞

高齢の利用者が、「暗くて足元がおぼつかない

ので懐中電灯をお借りしたい」と言っています。

＜アクション（4）E1＞

多くの学生から、「家族と連絡をとるために、

館内の荷物の中にある携帯電話やスマート

フォンを取り出したい」という希望が寄せ

られています。

＜アクション（4）A2＞

学生が、「自宅周辺が水害に遭い近づけない

らしい。今日中には帰宅できないかもしれないため、避難所を教えて欲しい」と言っています。

＜アクション（4）B2＞

利用者が、｢図書館のトイレが使えなくなった

ようだ。どこに行けばいいですか？｣と言って

います。

＜アクション（4）C2＞

学生が、「友人が見当たらない。確か書庫に本を取りに行くと言っていた」と訴えています。

＜アクション（4）D2＞

学生が、「友人が見当たらない。避難を始める

時までは一緒にいた」と訴えています。

＜アクション（4）E2＞

玄関ホールで遭遇した元図書館長の教員が、レーン文庫のコレクションの管理状況を尋ねてきました。